

事務事業名 巡回福祉バス運営事業

出力日：令和04年03月24日

キーコード：1768

施策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040105-07-00
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標			担当課	健康推進課
			担当係	健康企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			カミーリヤ巡回福祉バスの運行管理に関すること 利用対象者：カミーリヤ利用者及び公共施設利用者 利用料金：無料 開設年月：平成10年11月 バス台数：マイクロバス2台、ワゴン車1台 路線・便数：5路線 1日20便 バス停66箇所 根拠法令：筑紫野市巡回福祉バス管理運行要綱 運転業務：(有)つくしの観光バスへ委託契約（単年度契約）令和3年度～							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市総合保健福祉センター利用者の交通手段の確保を図るため、カミーリヤバスの運行及び管理をおこなう。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標	
カミーリヤバス利用者数		人	41,421	23,583	42,000	42,000			48,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	17,354	31,466	31,253	31,362			
		国	千円		0	0	0			
		県	千円		0	0	0			
		地方債	千円		0	0	0			
		その他	千円		0	0	0			
一般	千円	17,354	31,466	31,253	31,362					
正職員人工数		人工	0.5	0.2	0.2					
正職員人件費		千円	4,033	1,606	1,584					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	21,387	33,072	32,837	31,362				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況> 利用者数が17,838人減少した。 <原因> 平成31年1月から御笠コースが廃止になったことや、新型コロナウイルス感染拡大防止のためカミーリヤが休館したこと等により利用者数は減少したが、令和2年4月から委託先をバス会社に変更したことにより、利用者の安全が以前より向上し、苦情等も減少している。 <課題> 巡回福祉バスが運行していない地域からの、コース変更の要望が上がっており、乗降調査等を行い必要であれば、見直しが必要である。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり							
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
地域公共交通施策が進み、平成31年からコミュニティバスを運行し、カミーリヤバスにおいてもダイヤ改正を行い、利用者の利便性が向上された。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
カミーリヤが公共交通機関でのアクセスが不便な立地であるため、カミーリヤを拠点に巡回する福祉バスを運営した。H28年1月からバスの老朽化に伴う買い替えに合わせてバスを3台体制とし、路線の見直し等を行った。H31年1月からコミュニティバス、御笠自治会バスの運行開始に伴い御笠コースを廃止した。										